

令和2年度

本部町立学校自己評価・関係者評価の報告書

評価		(A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった)										達成度		(A:目標達成, B:進展は有り, C:一部は進展有り, D:進展なし)			
NO	項目	番号	1学期					Action (改善策)	2学期					比較	達成度	CHECK (成果と課題)	PLAN (次年度目標設定)
			A	B	C	D	評定		A	B	C	D	評定				
1	・教育課程 ・学習指導	①	7	1	1	0	3.8	ミライムを活用し教育課程の確認を絶えず行う。	7	3	0	0	3.7	-0.1	A	見通しをもった計画的に取り組めた。	ミライムの活用推進
		②	4	5	0	0	3.4	個に応じた指導をさらに推進する。	6	3	1	0	3.5	0.1	A	授業改善により個に応じた指導の充実を図る。	授業での個の対応(PC活用)の工夫が必要
		③	4	5	0	0	3.4	集計表を活用し週案提出の確認を行う。	4	6	0	0	3.4	0.0	B	週案を出さない担任がいた。	週案の2週分作成を推進する。
		④	2	6	1	0	3.1	指導と評価について校内研修で取り組む。	4	6	0	0	3.4	0.3	A	授業改善が図られた。	わかる授業・ITCを活用した授業展開を推進する。
		⑤	6	2	1	0	3.6		7	2	1	0	3.6	0.0	A		インクルーシブ教育を考慮し掲示物の削減を行う。
2	生徒指導	①	8	1	0	0	3.9	ミライムを活用し情報の共有を図る	6	4	0	0	3.6	-0.3	A	情報の共有を図り、連携して対応することができた。	ほうれんそう体制の確立を図る。
		②	9	0	0	0	4	児童観察や毎月のアンケートで早期発見に務める	9	1	0	0	3.9	-0.1	A	早期発見に努め、適時対応することができた。	いじめを許さない学校風土作りを継続して行う
		③	7	2	0	0	3.3	連携体制の強化	7	3	0	0	3.7	0.4	A	連携体制の強化により迅速な対応ができた。	連携体制の維持と職員の生徒理解を深める
		④	6	3	0	0	3.7	家庭・地域との連携を深める。	4	6	0	0	3.4	-0.3	B	家庭・地域から多くの協力がいただけた。	家庭・地域との連携を密にし、協力をあおぐ
		⑤	5	4	0	0	3.6		8	2	0	0	3.8	0.2	A	児童の自己有用感・肯定感が向上している。	継続して取り組む
3	(キャリア教育) 進路指導	①	3	6	0	0	3.3	年間計画に沿って実施	7	3	0	0	3.7	0.4	A	計画どおりに進めることができた。	人材活用を増やす
		②	3	6	0	0	3.3	人材バンクの活用促進	7	3	0	0	3.7	0.4	A	各担任により地域人材の活用に差がある。	地域人材の活用促進
		③	4	5	0	0	3.4	夢ファイルを推進する。家庭との連携	6	3	1	1	3.5	0.1	A	夢ファイル活用推進により児童の意識を高める。	夢ファイルの定着と活用促進・保護者の理解を深める
4	安全管理	①	9	0	0	0	4	適切に行われている。	10	0	0	0	4	0.0	A	適切に行われている。	職員の防災訓練を行い、防災対策の見直しを図る
		②	8	1	0	0	3.9	適切に行われている。	8	2	0	0	3.8	-0.1	A	適時マニュアルとの整合性を確認できた。	適時マニュアルの確認・訂正を行う。
		③	9	0	0	0	4	適切に行われている。	9	1	0	0	3.9	-0.1	A	毎月の安全点検後の確認や連絡を適切に行った。	日頃の安全確認を適切に行い情報の共有を図る。
		④	6	2	1	0	3.6		4	6	0	0	3.4	-0.2	A	交通安全・安全マナーの指導を徹底	校区安全マップの作成
		⑤	5	4	0	0	3.6		3	5	0	0	3.1	-0.5	A	家庭・地域との連携を深める	家庭・地域と連携して児童の安全確保を推進する。
5	保健管理	①	9	0	0	0	4	計画通り実施できた。	10	0	0	0	4	0.0	A	相談体制が整備されている。	学校保健計画の見直しを図る。
		②	8	1	0	0	3.9		6	4	0	0	3.6	-0.3	A	虫歯の治療率が向上した。	自己管理能力の向上をさらに図る。
		③	8	1	0	0	3.9	コロナ対策が適切に行う	9	1	0	0	3.9	0.0	A	コロナ対策が適切に行われた。	保健室と担任との連携を図り推進する。
		④	7	2	0	0	3.8		7	2	1	0	3.6	-0.2	A	外部講師を活用し薬物乱用教室・性教室を開設できた	外部講師の活用を図る。
		⑤	2	6	1	0	3.1	スロージョギングの推奨	3	7	0	0	3.3	0.2	A	スロージョギングへの参加児童を増やす	スロージョギングを推進する。

学校関係者評価		指標課題は「順調」である		指標課題は、「概ね順調」である		指標課題は、「やや順調でない」		指標課題は、「順調でない」		合計	評定	所見及び備考
1	教育課程・学習指導	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	・授業中の児童の学習姿勢がとても良く学校全体が落ち着いている。 ・全国学力や各種学力調査結果がほとんど町や地区平均を上回っており、各先生方の指導に感謝している。
2	キャリア教育(生徒指導)	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	
3	進路指導	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	
4	安全管理	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	
5	保健管理	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	

令和2年度

本部町立学校自己評価・関係者評価の報告書

評価 (A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった)

達成度 (A:目標達成, B:進展は有り, C:一部は進展有り, D:進展なし)

NO	項目	番号	1学期					Action (改善策)	2学期					比較	達成度	CHECK (成果と課題)	PLAN (次年度目標設定)
			A	B	C	D	評定		A	B	C	D	評定				
6	特別支援教育	①	4	4	1	0	3.3	校内研修でインクルーシブ教育の理解を深める	4	6	0	0	3.4	0.1	A	支援員との連携を図り個々の支援ができた。	インクルーシブ教育への理解をさらに深める。
		②	3	6	0	0	3.3	ニーズの把握が十分でない。	5	5	0	0	3.5	0.2	A	個々の特性に合わせた支援を行えた。	保護者のニーズを把握し指導計画に生かす。
		③	3	6	0	0	3.3	SSWとの連携を図る。	5	4	1	0	3.4	0.1	B	養護教諭・SSWとの協力により適時対応できた。保護者との連携が弱い。	養護教諭・SSW・保護者の連携強化を図る。
7	教育目標・組織運営	①	6	3	0	0	3.7	終礼や担任会で調整を図る。	6	4	1	0	3.6	-0.1	B	ミライム活用により細かな確認をとることができた。	ミライムを活用し情報の共有を深め組織的に学校運営
		②	6	3	0	0	3.8		9	1	0	0	3.9	0.1	A	共有情報の管理が徹底できた。	openメールアカウントの活用し情報の管理・共有化を図
		③	4	4	1	0	3.3	各担当に早めに計画をさせる。	7	2	1	0	3.6	0.3	A	各行事担当による早めの見直し提案が少なかった。	各担当が学校運営を意識して提案を行う。
		④	3	6	0	0	3.3	校務分掌と役割をしっかりと確認させる。	5	5	0	0	3.5	0.2	A	早めの声かけにより行事を計画的にこなせた。	実施評価・反省を生かした計画を作成する。
		⑤	2	7	0	0	3.2	連携・協力して学校運営に参加させる。	3	7	1	0	3.3	0.1	A	行動連携・共通理解を深め迅速に対応している。	職員連携を密にし協働体制を推進する。
8	研修組織	①	7	1	1	0	3.7	具体的な推進計画の見直しを図る。	5	5	0	0	3.5	-0.2	B	学校課題である授業改善ができた。	ICTを活用した授業展開を図る。
		②	7	1	1	0	3.7	計画的に研修が行われている。	7	3	0	0	3.7	0.0	A	研究授業の日程を変更することがあった。	
		③	5	4	0	0	3.6		5	4	1	0	3.4	-0.2	A	校外研修への対応が難しい。	校外研修への参加がしやすい体制づくり
9	保護者・地域住民との連携	①	5	3	1	0	3.4	保護者との連携を深める。	3	7	0	0	3.4	0.0	B	保護者が協力的に活動に参加している。	地域・保護者との連携協力体制の強化
		②	6	3	0	0	3.7		5	4	1	0	3.6	-0.1	A	学校評価を基に改善を図っている。	地域保護者から信頼される学校運営を推進する。
		③	6	2	1	0	3.6	計画通りに行っている。	6	4	0	0	3.3	-0.3	B	コロナにより地域人材の活用を図ることができなかった。	地域教育資源の掘り起こしを行う。
		④	8	1	0	0	3.9	掲示板を活用し各便りの掲示を行う。	8	2	0	0	3.8	-0.1	A	学校便り学級便りで学校・児童の様子を伝えられた。	学校便り学級便りで学校・児童の様子を伝える。(電子イ
		⑤	2	4	3	0	2.9	コロナ対策のため連携が少ない。	1	4	4	1	2.5	-0.4	C	コロナにより地域の行事等に参加できなかった。	職員と地域との連携を図る。
10	施設・設備	①	8	1	0	0	3.6	ミライムを活用し点検集計ができた。	7	3	0	0	3.7	0.1	A	毎月の施設設備点検が計画的に行われた。	各種点検を計画的に行い、安全な学校を作る。
		②	7	2	0	0	3.4	コロナ対策のため教材・教具の使用制限がある。	6	4	C	D	3.6	0.2	A	ロイロノートの活用を図った。	インターネット環境の整備を行う。
		③	5	4	0	0	3	備品の整備点検・廃棄申請を行う。	4	5	0	0	3.4	0.4	B	備品の整備を計画的に進めることができた。	足りない備品の要求を行う

学校関係者評価		指標課題は「順調」である		指標課題は、「概ね順調」である		指標課題は、「やや順調でない」		指標課題は、「順調でない」		合計	評定	所見及び備考
6	特別支援教育	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	・学校の授業参観や各種行事への保護者の参加が前年度より増え、PTAの連携協力も良い。 ・新校舎となり施設や備品等足りないものが多々あると思うが地域・保護者と連携協力し、支援していきたい。
7	教育目標・組織運営	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	
8	研修組織	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	
9	保護者・地域住民との連携	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	
10	施設・設備	3人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	3人	4.0	